

さわやか愛の家

おおかわ館 開所

七月一日、福岡県大川市にさわやか倶楽部の放課後等デイサービス「さわやか愛の家おおかわ館」が開所しました。当社グループの放課後等デイサービスとしては二十二カ所目、福岡県内では十三カ所目のさわやか愛の家となります。立地は、福岡県南西部の筑後川左岸、花宗川最下流右岸に位置しています。市内には数々の神社仏閣や旧跡があり、そこには今でも伝統と歴史が残されています。近隣には大川中央公園もあり、季節の移り変わりに合わせて変化していく自然も魅力です。子ども達が楽しく社会と関わる機会を提供し「幼・青・老」の共生を実現する福祉施設を目指します。

センター長あいさつ

皆様のご理解とご協力のおかげで、無事に開所することができました。本当にありがとうございます。重要な立ち上げの機会に管理者として抜擢していただき、身の引き締まる思いです。さわやか倶楽部に入社し「さわやか愛の家」



中村センター長

あさくら館、たちあらい館で管理者兼児童発達支援管理責任者として勤務してまいりました。今後、子ども達の将来を見据え、職員一同全力で支援に取り組んでまいります。

(中村 弥生)

さわやか愛の家 おおかわ館

〒831-0005 福岡県大川市大字向島2179番地

TEL.0944-89-8622

交通アクセス

西鉄バス・大川橋バス停より徒歩5分
九州自動車道・東脊振ICより車で約30分外国人労働者の心身の健康支援体制確立を
久留米大学・東京家政大学と
共同研究スタート

ウチヤマホールディングスでは、久留米大学医学部環境医学講座、東京家政大学健康科学部が進める介護分野における研究に関し、連携協力による共同研究を開始しました。

現在、外国人技能実習制度や、新たな在留許可としての特定技能により、日本における外国人労働者の増加が見込まれる中で、日本で暮らす外国人が医療機関を受診する機会が増加し、医療現場においても外国人への対応の機会の増加が予想されます。さまざまな国・地域の生活習慣、宗教などの違いにより、健康状態、健康への意識、習慣も日本と大きく異なることが考えられますが、外国人労働者の心と健康に関する研究事例は乏しく、情報が少ないのが現状です。

今回の共同研究では、さわやか倶楽部の介護施設で勤務するインドネシア人の技能実習生の健康習慣や心身の健康状態について、聞き取りとアンケート、口腔内診査を行うことで現状を把握し、問題点を把握することで、外国人技能実習生の心身両面の支援体制を整備し、より安心して就労できる環境の構築を目指します。

主な協力事項

- ① 共同研究の実施とこれに伴う
研究者・実習生・労働者・介護従事者等の人材交流
- ② 外国人介護技能実習生・労働者を対象とした聞き取り・アンケート調査(感染知識と予防状態、睡眠、心の健康など)
- ③ 歯科健診と健康結果に対する指導・治療の円滑化
- ④ 産業医による定期面談(メンタルヘルス)
- ⑤ 介護施設の感染対策状況と感染予防教育・指導



介護施設での聞き取りの様子

会長賞

2022年
7月度
表彰

今月は、さわやか宗像館へ入居者様の面会に来られたご友人・北村様より感謝のお葉書をいただきました。

さわやか宗像館（福岡県宗像市）

入居者様のご友人・北村様より

初めのご訪問、ご親切にいただき、ありがとうございました。
コロナ禍の厳しい管理の中、対応のチャンスをいただき感謝に堪えません。
写真まで、ありがとうございます。

数か月ぶりに見る満里子さんの笑顔に、つい涙しました。
月に二回はお訪ねしたいと思います。これからもどうかよろしく、お願いいたします。

ボケボケと言われて過ごす毎日に、優しく寄り添う、風になりたい

（北村 速雄 作）

《施設からのコメント》

北村様からご丁寧な葉書をいただいたおかげで会長賞をいただき、ありがとうございます。

繁田満里子様は、二〇二三年五月に入院先の病院からさわやか宗像館に入居されました。入居直後は初めての環境で緊張されていたのか、静かなご様子でした。しかし、だんだんと職員とも会話がはずむようになり、レクリエーションにも参加されるようになりました。

ご友人の北村様からさわやか宗像館にご連絡をいただき、六月に面会が実現しました。久しぶりの再会で、お二人共大喜びでの対面に。宗像館一階にある宗像神社と一緒に参りされる姿に職員も感動し、ツーショットを撮影させていただきました。その場で北村様と繁田様にお渡ししました。

現在、繁田様は穏やかに過ごしています。持前の上品な笑顔で、職員の方が元気をいただいています。さわやか宗像館においでくださったご縁を大切に、職員一同、これからも心をこめてお手伝いをさせていただきます。（施設長・白土 俊弘）

※写真およびお手紙は、繁田様および北村様の許可を得て掲載しています。

Star No.167

センター長

藤井 真梨子さん

さわやか愛の家せとうち館
[岡山県瀬戸内市]

キラリ一等星

光り輝くスタッフのご紹介



私は10歳になる双子の女の子の母親です。初めての子育てが双子で不安もありましたが、悩んでいた時に相談できる人が身近にいてくれたので、一番大変だった幼少期を乗り越えることができました。子育てをしていく中で「きっと私のように悩んでいるお母さんたちはたくさんいるはず、お母さんたちの為になる仕事がしたい」と思い転職を考えていた時、さわやか愛の家さいだいじ式番館の求人が目に残りました。

最初は「放課後等デイサービスってなに？」という段階でしたが、入社後には様々な本を読み、講演会などにも足を運び、障害についてたくさん勉強しました。県外で行われた強度行動障害の研修も受け、2年前には児童指導員として勤務ができたことがとても嬉しかったです。入社して2年経った頃に「管理者をしてみないか」というお話をいただき、私の今までの経験がお役に立てるならと思い、お引き受けしました。

私が仕事をする上で一番大切にしていることは、相手と同じ目線で物事を考えることです。私がその子の立場だったらどう思うかな？私がその子のお母さんだったら、何をしてもらえると今一番うれしいだろう？役立つだろう？など、同じ目線で悩み・喜びを共感し寄り添っていきたいと思いながら仕事をしています。子どもたちが喜んでくれたり、保護者の方のお役に立てた時には、とてもやりがいを感じます。

愛の家さいだいじ式番館で過ごした4年半、職員の方たちと支え合いながら、子どもたちが自分のことをもっと好きになれる、笑顔で過ごせる場所を作り上げてきました。今年の6月に愛の家せとうち館への異動が決まり、保護者の方々にご挨拶させていただいた時、多くの保護者の方が「今までありがとうございました」と声をかけてくださいました。また最終日には、子どもたちや保護者の方からたくさんのお手紙やプレゼントをいただきました。皆様からたくさん「ありがとう」を言っていただき「今まで頑張ってきてよかったな」と心から感じたと同時に、感謝の気持ちでいっぱいでした。

現在は愛の家せとうち館の管理者として、フレッシュな気持ちで仕事に励んでいます。新しい環境の中ではありますが、せとうち館の保護者の方々が温かく迎えてくださり、本当に嬉しかったです。毎日が新鮮でとても楽しく過ごせています。これから、せとうち館の子どもたちが楽しく過ごせる場所、たくさん成長ができる場所を作り上げていきたいです。

最近は、梅干し作りや味噌作りなど手作りを楽しんでいます。わが子と一緒に梅作りをしたり、家庭菜園をしたりと、家庭での食育も頑張っています。高校時代は食物調理科で調理を学び、専門学校ではホテル学科にてマナーについても勉強しました。今まで学んだことを仕事でも家庭でも活用していければと思っています。今後も管理者として尽力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

第16回 ウチヤマホールディングス定時株主総会

6月23日、北九州市のJR九州ステーションホテル小倉において、株式会社ウチヤマホールディングスの第16回定時株主総会を開催しました。会場には26名の株主様が来場され、山本武博社長の進行のもと、滞りなくすべての議案が承認されました。

今回の決議により、吉岡信之取締役が監査等委員に就任し、ボナーとさわやか倶楽部の監査役も兼任することになりました。総会の最後には、内山文治会長が来場された株主の方々に向けて感謝の挨拶を行いました。



内山さわやか会 第35回 総会開催



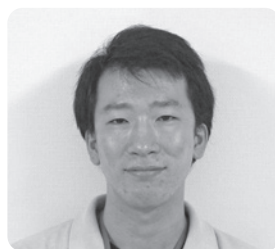
6月28日、北九州市のアサノパティオにて、第35回目となる内山さわやか会の総会が行われ、64名の会員企業の方が参加されました。総会後には来賓の方もお招きして懇親会が行われ、こちらは108名の方が参加されました。懇親会では、昨年に引き続き北九州市出身のシンガーソングライター・池端克章さんによるミニライブがあり、たいへん盛り上がりしました。内山さわやか会では、今年度も様々な機会を通じて会員同士の交流を深める企画の開催を予定しています。

産んでくれて
育ててくれて
ありがとう！



私は1995年7月10日、千葉県千葉市に2人兄弟の次男としてこの世に生をうけました。お腹にいた頃は母が入院していた産婦人科まで兄も毎日来てくれていたと聞きました。産まれてからは私に不整脈が見つかり、心配が絶えなかったと聞いています。2歳の頃に母子家庭となって、一般的な家庭環境ではありませんでしたが、母の支えのおかげで不正脈以降は大きな病気や怪我なく育つことができました。

学生の頃は勉強と運動が得意ではなく、周りのクラスメイトからイジメや馬鹿にされることが多くあったため、揉め事が絶えず学校からの電話が多くなり、不登校になった時期もありました。母はそんな私を心配して習い事を探してはいろいろな所へ見学に行き、小学5年生の時に和太鼓を始めました。それから中学、高校時代は趣味として和太鼓を続け、コンクールや海外での公演で移動が多かったですが、母はいつも仕事が忙し中、送り迎えをしてくれました。



伊藤 啓介さん

さわやかゆう輝の里
[千葉県千葉市]

母はいつも「自分で決めたことは最後までやり通しなさい」と言い、この言葉と支えがあったことで学校生活も和太鼓も頑張ることができ、18歳の時には和太鼓で千葉県代表になりました。

その後、母の勧めもあり2017年10月16日にさわやかゆう輝の里へ入社しました。初めての介護職でいろいろと不安がある中、好きな音楽の活動をするために東京の音楽事務所に所属して歌やダンスの勉強に通い、帰宅が夜中になったり、時には朝帰りすることもありました。きっと母は心配だったと思います。それでも顔に出さず「頑張りなさい、まだ頑張れる」と励まし応援してくれます。今の私があるのは、いつまでも心配し続け、挫けそうになると喝を入れ、母子家庭でも周りの家庭に負けないくらいの熱量を持った母だからと思っています。

これからも母と二人三脚で頑張っていけます。お母さん、生んでくれて、育ててくれて、ありがとう。

さわやかダイアリー

日々更新される施設のブログから一部をご紹介します！



その他の
記事は
こちらから



7/5

七夕飾り

さわやかおかざき館 || 愛知県岡崎市

笹が届きました。入居様で短冊を飾ります。高い所がいいわと結びます。こちらお願いを込めて、順番に飾りつけです。私はここに、と結びます。玄関の笹に皆様ご自分で願い事を飾り付け。カツが食べたい!だなんてお茶目です。みてみてと宝くじ1等当たります様にの短冊を持ってニッコリ。笹が賑やかになってきました。短冊の次は飾りつけです。自分たちで作った折り鶴、やっこさんを飾り付けます。私もと皆で協力です。

七夕飾りの出来上がりです。早速お友達同士記念写真です。嬉しそうに微笑みます。そして各フロアにも飾りつけです。下に降りられない方も飾りつけ。カメラは恥ずかしいと言いながらも、手はしっかりピース。とっても嬉しそうです。(鈴木 道子)



7/12

流山そうめん

さわやかながれやま館 || 千葉県流山市

やってまいりました夏の風物詩、流山そうめん。屋外への水の流れもバッチリです。自然の中に溶け込むこのアングルいいですね。

初日は1Fフロアの皆さまです。準備はいいですか? Ready go! 早く流れて来ないかしら。上手にゲット。そばも流れて来ました。流れて来る方向をジー。よし、取れた。良かった食べられました。相当食べました、ちょっと休憩。

楽しい雰囲気の流れて来るとお腹いっぱい! でも食べちゃいます。そうめんと一緒にカニかも流れています。きゅうりも流れてたのであげるわ。どのような食事形態の方でも参加します。大きな口でアーン。笑もいっぱい、お腹もいっぱい、流山そうめん。

そして、もちろん職員も楽しみます。本気で食べまくる職員、チームワークのながれやま館。仕事もレクも本気です。(藤島 真州美)



6/23

父の日レク

さわやかふか家の里 || 埼玉県深谷市

職員が男性の入居様を喜ばせようと準備した手作りネクタイをプレゼント。笑顔の表情をたくさん見せていただきました。ワイシャツ型のメッセージカードといっしょに。

赤いネクタイがお似合いですね。奥様から父の日のプレゼント。メッセージを見て笑顔のご主人。こちらは爽やかなミントグリーンのネクタイがお似合いなご入居様。みなさんとっても喜んでいただきました。

父の日レクは大成功。また来年も楽しい父の日レクを開催しますので楽しみにしてください。

(今成 美由紀)



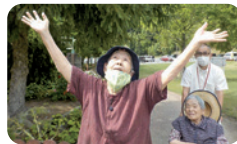
6/17

ドライブクリエーション

むなかた
さわやか宗像館 || 福岡県宗像市

梅雨の晴れ間には出かけなくちゃ。順番に近くのグローバルアリーナにお連れしました。緑とそよ風が心地良かったですよ。

明るい陽射しの中でアジサイが綺麗に咲いていました。胸いっぱい風を吸い込んでますよ。ヤマボウシも美しかったです。宗像はいいところですねと話されていました。(池田 ちえ子)



6/20

4周年ありがとう

さわやか愛の家さくら館 || 秋田県秋田市

おかげさまで、この6月1日で4周年を迎えることができました。たくさんのお子さん達に出会えたことに感謝です。子ども達の喜怒哀楽を側で支え見守ることができることに感謝です。子ども達の一日一日と成長していく姿を感じることができることに感謝です。本当にたくさんのお子さん達と保護者の方に支えられて今日を迎えることができています。本当にありがとうございます。

これからもさくら館は子ども達に負けないパワーで職員全力で努めてまいります。どうぞ5年目もよろしくお願いいたします。(進藤 幹子)



6/24

さくらんぼ♪

さわやかいずみ館 || 福岡県朝倉市

山形にお住まいの御家族様が、さくらんぼを送って下さいました。佐藤錦という、大きくてプリプリしたさくらんぼです。早速、お母様に召し上がっていただきました。「さくらんぼの季節になったね」「おいしい～」とニコリ笑顔です。娘様のことを同じお席の方にお話ししていらっしゃいました。「皆様にもどうぞ」とのこと、さくらんぼのお福分けです。

「あら～、あなたは山形から朝倉まではるばるきたのね。山形のさくらんぼは、初めていただきます」「甘いね～」「おいしいね」とお話ししながら、皆様、笑顔で召し上がりました。「ありがとう元気になってるよ」とカメラに向かってピースサインをして下さいました。ありがとうございます。(和佐野 蓉子)



6/10

白寿の衣装

さわやかヘルパーステーションいそうだ || 福岡県福岡市

在宅(ご自宅)で訪問介護を利用される99歳の方をご紹介します。この方は、99歳という高齢にも関わらず、お一人で暮らされています。当事業所のヘルパーが訪問し、お部屋・キッチン・トイレの清掃、また買い物代行や調理を行っています。

先日の訪問時に「白寿の衣装」が実家から送ってきたと、純白の帽子と羽織を見せられ「これを着て写真を撮りたい」と言われ準備をしました。ご本人様は、きちんと眉毛を描き、ほんのり口紅を付けられました。いつまでもお元気で在宅生活が継続するように、これからもご支援していきます。(栗原 英子)



『介護セミナー』から 『さわやかグリーン倶楽部』が発足！



面会に来られたご家族様が農家の腕を
ふるってくださいます。

「さわやか宗像館」の中庭が
地域コミュニティガーデンに変わります！

「さわやか宗像館」と宗像市の団地再生プロジェクト「ひのさと48」さん
との協働セミナーがご縁で、新しい「コミュニティができました。『さわやかグ
リーン倶楽部』です。

地域コミュニティ活動への参加は、さわやか倶楽部が「北九州SDGs登録
制度」に登録した時からの重要テーマ。介護セミナーをきっかけに、セミナー
以外で地域の輪を広げていくことができ、
SDGs活動がさらに広がります。

『さわやかグリーン倶楽部』には、さわやか宗
像館の池田生活相談員を中心に、苗を寄付して
くださる地域の方、ご入居者のご家族様、厨房ス
タッフさん等、続々メンバーが集まっています。こ
れまで平面だった中庭に、薔薇、ミニトマト、マ
リーゴールド、バジル、ヒマワリ、日野草、ジキタリ
ス等がどんどん開花し実を結びはじめました。
もちろん、さわやか宗像館のご入居者様、シヨ
ーティストのご利用者様も参加しています。

来年の春頃には宗像のハウステンボスになっ
て、大勢でガーデンパーティーを開くのが目標。
ともにガーデンを育てていくことで会話がはず
み、地域の助け合いの輪が広がります。

『さわやかグリーン倶楽部』の新しいメンバ
ーも募集中です。お花大好き、やってみたいとい
う方は、さわやか宗像館までご連絡ください！大
歓迎です。（原田 裕子）



介護セミナーの後に、ブーケ作りを
したことがきっかけです。



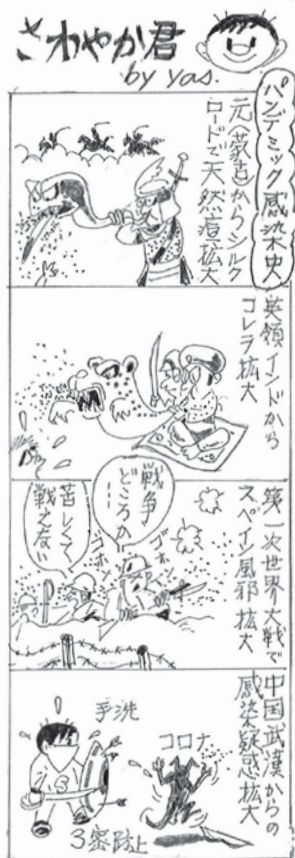
さわやか宗像館のご入居者様も
楽しみにされています。



来年の春には
ガーデンパーティーを開きましょう。



薔薇もグングン育っています。



さわやか宗像館ご入居者様 柏木 康武様 作



ドリンクバーの
プラスチック製ストローの設置を
廃止いたしました。

ご希望の方はスタッフにお声かけください。

2022年より当社では環境に配慮し、SDGsの
取り組みの一環としてプラスチック製ストロー
のドリンクバーの常時設置を廃止いたしました。
ご希望のお客様へはストローをご用意いたしますので、
スタッフへお気軽にお申し付けください。



株式会社ボナーが運営するカラオケチェーン「コロッケ倶楽部」では、各店のド
リンクバーにプラスチックストローを常時設置していましたが、環境に配慮する
SDGsの取り組みの一環として、二〇二三年七月から設置を廃止しました。
ストローが必要なお客様に対してはフロントでお渡ししますが、そのスト
ローも紙製または植物などに由来する再生可能な有機性資源（バイオマス）を
主原料とするプラスチック製に変更しています。今後はプラスチック製のマド
ラーも同様に木製の製品に切り替えていく予定です。

コロッケ倶楽部で
プラスチック
ストロー設置を
廃止





安倍晋三先生を偲ぶ

参議院選挙の投票日を間近に控えた七月八日、当社が以前から大変お世話になっていた安倍晋三先生が何者かに銃撃されたというショッキングなニュースが飛び込んできました。何とか命だけでも助かつてほしいと懸命に願いながら本社の神棚に祈りを捧げ、近くの神社にも参拝をしましたが、残念ながら回復することなくお亡くなりになったという知らせが入ってきました。安倍先生がこのような形でこの世からいなくなってしまうことは想像すらしなかっただけに、私も強いショックを受け、思わず男泣きしました。

安倍先生の地元である山口県下関市に本拠があり、私が以前理事長を務めていた社会福祉法人「さわやか会」が開催する施設の行事に、安倍先生は奥様の昭恵さんともども何度か顔を出していただけていました。そうした古くからの付き合いもあり、二〇一〇年の八月に当社が北海道で初めて開設した介護付有料老人ホーム「さわやか東神楽館」の竣工式典には、安倍先生もわざわざ現地までお越しいただき、あいさつをしていただきました。

また、今から十年前の二〇一二年七月九日には、当社が北九州市で毎年開催していた市民向けの特別講演会の講師に安倍先生をお招きさせていただきました。当時は自民党が野党という立場で、安倍先生は一度目の総理大臣を辞任した後、その年の秋に行われる党の総裁選に出馬の意向を固める前といった状況でしたが、安倍先生の人気はたいへん高く、約二〇〇〇名のお客様が講演を楽しみにしていました。その時の様子を、ウチヤマタイムズの当欄で紹介していましたので、ここに抜粋して再掲します。

当日、安倍先生が会場のホテルに到着したという知らせを聞いて、私は真っ先にあいさつしようと控室のドアをノックして中に入りました。安倍先生には今まで何度もお会いしていましたが、当日はいつもと違っていくぶん生気ない様子で、表情が陰しく見えたのが気がかりでした。それでもそのうちに他の来賓の方々がお見えになると、笑顔で会話をされていて少し安心しました。そしていざ約二〇〇〇名の参加者を前に壇上に立った安倍先生は、見事に頬が紅潮して凛とした顔つきに変わり、いつもの堂々とした雰囲気で一時間以上にわたって講演と質疑応答を行ってくださいました。

その後、食事会場のアサノパティオに移動し、そこで安倍先生の警備担当の責任者から意外なことを聞いて驚きました。実は安倍先生は、風邪をひいて非常に体調が悪く、前日には三十九度の熱があったとのことでした。秘書の方にも確認したところ、やはり体調不良のために講演を辞退することも考えたそうですが、多くの方が楽しみに来場されるのでやらないわけにはいかないと、先生自ら予定通り開催することを決断されたということでした。

懇親会の会場でも安倍先生はひっきりなしにお客様から記念写真の撮影を求められ、食

事にほとんど手を付ける間もなく、最後までほぼ立ちっぱなしのまま笑顔で応じられていました。私はその姿に、本当のプロの精神を見せられた気がしました。日本という国家を背負って仕事をしている人というのは、これほどまでに気配りができ、自己を犠牲にしても人のために尽くせるのだということを改めて思い知りました。

講演会が終わって数日後、今度は会場だったステーションホテル小倉の担当者から、また素晴らしい話を聞きました。当日は警備の関係上、安倍先生はホテル内でもほとんど裏手の通路を通って移動されたのですが、控室から会場まで行き来する際も、通路にいる裏方のスタッフ一人ひとりに頭を下げて「ありがとう」と言いながら通っていたということです。ホテルの担当者も、今まで何人もの政治家や著名人を見てきたそうですが、そこまで丁寧にあいさつされる方は初めてだったと感心していました。安倍先生の持つ優しさ、思いやりの深さに、関わる人はみんなファンになるのだと思います。

この講演会の後、政局が大きく変化して安倍先生が自民党総裁に返り咲き、その直後の衆議院選挙で二度目の内閣総理大臣就任を果たされました。

二〇一七年には安倍先生より天皇皇后両陛下主催の「春の園遊会」に私を推薦していただき、妻と一緒に出席させていただきました。園遊会の前日には安倍先生ご夫妻が主催された夕食会にもお招きいただきました。この時も安倍先生は、私たち出席者が退屈しないように様々な話題を自ら提供され、笑顔の絶えない楽しいひと時を過ごすことができました。

本当に、感謝してもきれないくらいお世話になった安倍先生があのような形で凶弾に倒れるとは、残念でなりません。直接ご恩返しをすることはかなわなくなってしまいました。が、これまでに受けた恩義を忘れることなく、これからも安倍先生に喜んでもらえるようないい仕事を続けていかなければいけないと、改めて心に誓っています。

安倍先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

今回の事件の後、数日間は何となく元気が出ずに落ち込んでいると、私の心情を察した株式会社ワタヌキの綿貫伊津子専務が、美しい花束を持って当社に訪問してくれました。

「安倍先生が大好きな内山会長のことだからとても悲しんでいると思って」

という、その思いやりに心を打たれ、ようやく元気を取り戻すことができました。ウチヤマグループで働く皆さんにも、そのような心遣いができる心の優しさを持つてほしいと願っています。

いつも、ありがとうございます。



2012年7月 特別講演会の会場にて



山本社長 北海道に 上陸!

7月5日～7日の3日間、山本武博社長と八尋有紀部長が北海道に出張しました。室蘭市役所では青山剛市長と面会し、その後北海道議会の滝口信喜道議とも面会しました。また、北海道でさわやか俱樂部が運営する介護施設「さわやか東神楽館」「さわやか室蘭館」「さわやか室蘭式番館」「さわやかグループホームむろらん」の4施設にも山本社長が初めて訪問しました。昨年4月に社長就任以来、コロナ禍ということもあり施設訪問がなかなかできませんでしたが、感染者数の減少による行動規制の緩和を受けて、今回ようやく実現しました。各施設では、初めて見る社長の姿に入居者様も喜んだり、驚いたりして、記念撮影にも気軽に応じる山本社長でした。



Hello Baby!!!



おめでとう!

はたけ やま あや め

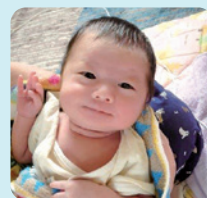
畠山 彩愛ちゃん

2022年6月22日生まれ | 女の子

無事に生まれた報告を聞いたときはとてもうれしく、とても安心しました。これから家族でたくさんの愛を育んでいくからね。生まれてきてくれてありがとう。

パパ

さわかかわつき館
介護職員・畠山 謙人(あきひと)



印刷版発行終了のお知らせ

ウチャマグループでは、2001年5月に社内報「ウチャマタイムズ」を創刊して以来、21年間にわたり月1回のペースで紙媒体での発行を続けてまいりました。配布の対象は社内各事業所のみならず、当社の施設をご利用のお客様やそのご家族様、社外の取引先、社員の家族等にも郵送し、好評をいただいておりますが、このたび、近年のSDGsの取り組みに象徴される自然環境意識の高まりを鑑み、次号の2022年9月号をもって印刷版の発行を終了することといたしました。今後は、ウチャマホールディングスの公式ホームページ内にある「ウチャマタイムズON THE WEB」という電子版にて、情報発信を継続してまいります。読者の皆様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

ウチャマタイムズ
ON THE WEB



あなたのお悩み話してみませんか？

さわやか相談室

お気軽にどんなことでもご相談ください。
お電話、メールお待ちしております！

電話番号

090-9497-5764

メール sawayakasoudan@docomo.ne.jp